

2020年6月4日作成

三重県における文化芸術関係者の
新型コロナウイルス影響に関する
実態調査

三重県内の文化芸術に
関わる有志一同

調査の要約 文化芸術への影響

- 三重県内で文化芸術に関わる個人および事業者が調査対象。
有効回答数は559件（個人495件・事業者64件）
- ほとんどの回答が新型コロナウイルスの感染拡大防止による
延期・中止の影響を受けた（個人96%・事業者97%）

調査の要約 収入の損失や傾向

- 延期・中止による収入の損失の平均額は、**個人が約37万円、事業所が約213万円**
- 技能分野別に見ると、「**技術提供・施設運営**」の損失額の平均が他の分野（創作発表・企画制作、教育研究など）よりも大きい

調査の要約

困っていること・必要とされる支援

- 困っていることは個人では「創作発表の機会が失われた」と「創作発表の準備や稽古が出来ない」、事業所では「中止や延期により損失が発生した」の回答が多い。
- 最も必要とする支援は、個人・事業所ともに「延期・中止による損失分の支援」や「活動の再開や新規展開事業に向けた支援」

実態調査の目的

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、活動の自粛や催事の延期や中止などを行い、また再開に向けた活動が不透明な状況下において、三重県を活動拠点としている文化芸術に関わる個人（実演家、創作者、技術者、制作者など）や事業所への影響を把握、行政や民間の文化芸術機関の支援の必要性や内容、方法の検討に資するものとする。

調査対象

文化芸術に関わる個人と事業所を調査対象とした

- 文化芸術に関わる個人

- 実演家（歌手、奏者、俳優、舞踊家など）
- 創作者（作曲家、劇作家、振付家、美術家、映画・映像作家など）
- 制作者（プロデューサー、マネージャー、コーディネーターなど）
- 技術者（舞台・照明・音響スタッフ、衣装・道具製作、展示設営など）

- 文化芸術に関わる事業所

- 実演に関わる事業所（オーケストラ、劇団、舞踊団など）
- 制作に関わる事業所（プロダクション、プロモーター、イベント制作会社など）
- 技術に関わる事業所（舞台・照明・音響技術管理会社、設営業者など）
- 施設に関わる事業所（ホール、劇場、ライブハウス、美術館、ギャラリー、映画館など）
- 教授に関わる事業所（教室、稽古、専門・専修学校、養成所など）
- サービスに関わる事業所（文化芸術に関わる委託サービスや人材派遣など）

調査方法

- ウェブアンケートによる配布・回収
- 無記名による回答

調査期間

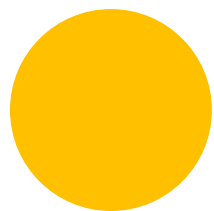
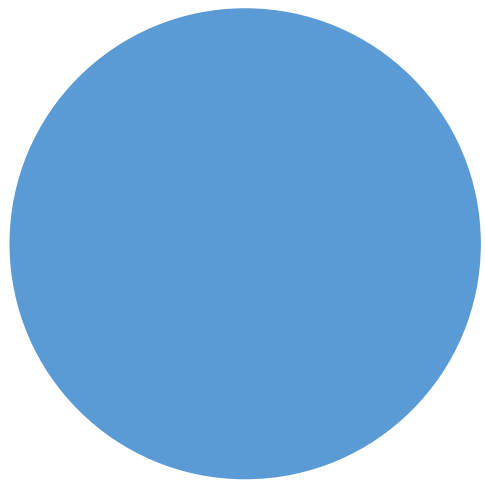
- 2020年5月20日16時から、6月1日18時まで

回答数

- 有効回答数は合計559件（個人495件・事業者64件）

	個人対象	事業者対象	合計
回答総数	498	65	563
無効回答	3	1	4
有効回答	495	64	559

※重複回答は無効回答とした



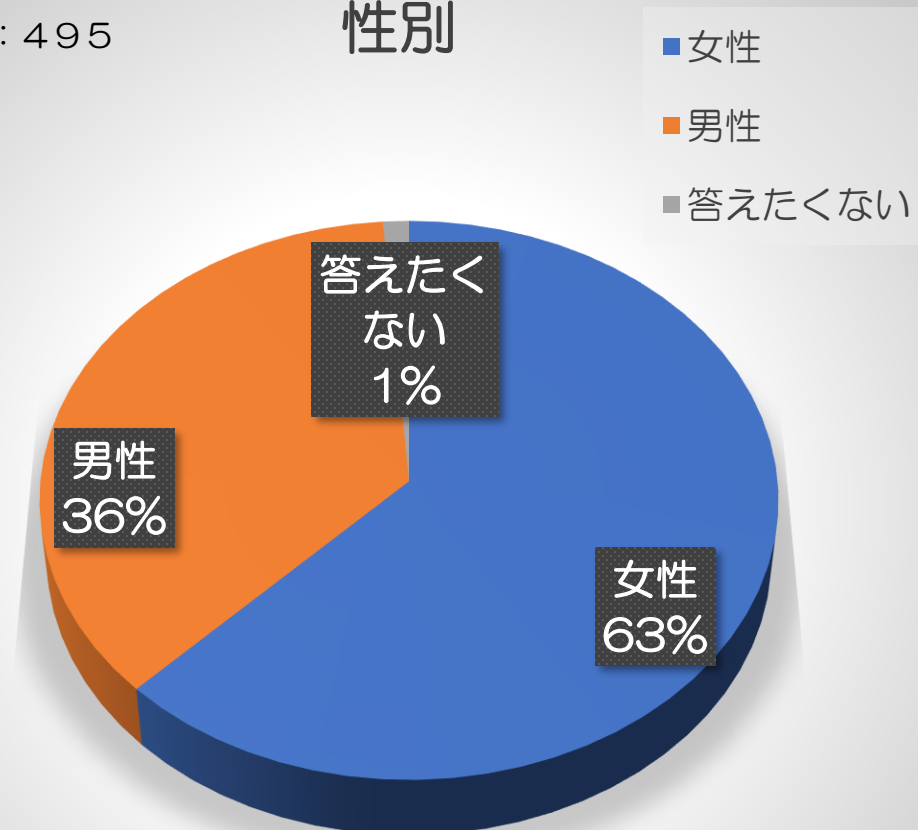
個人対象アンケート 調査結果

個人対象アンケート

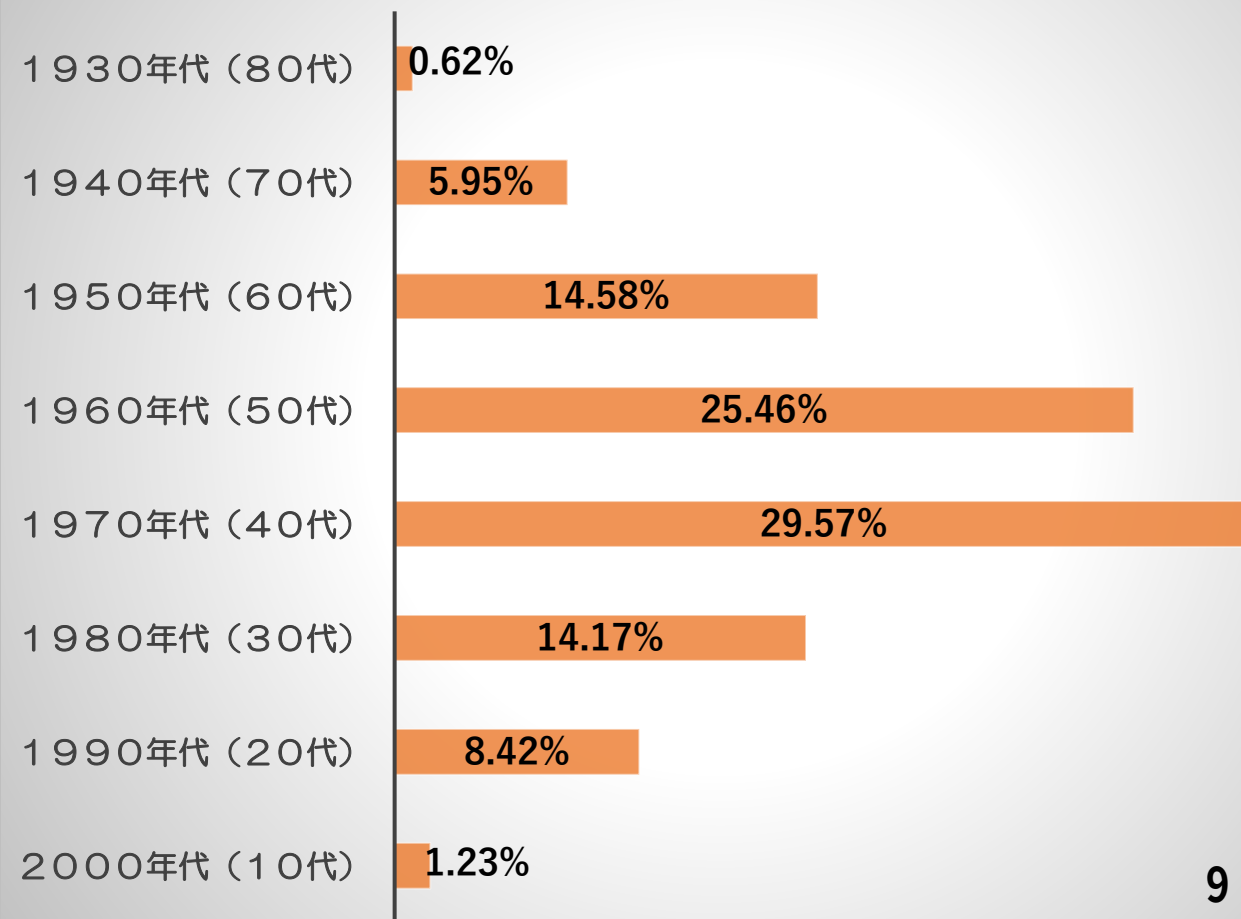
女性63%・男性36%で、10代から80代まで幅広い世代からの回答を得た

回答数：495

性別



年齢

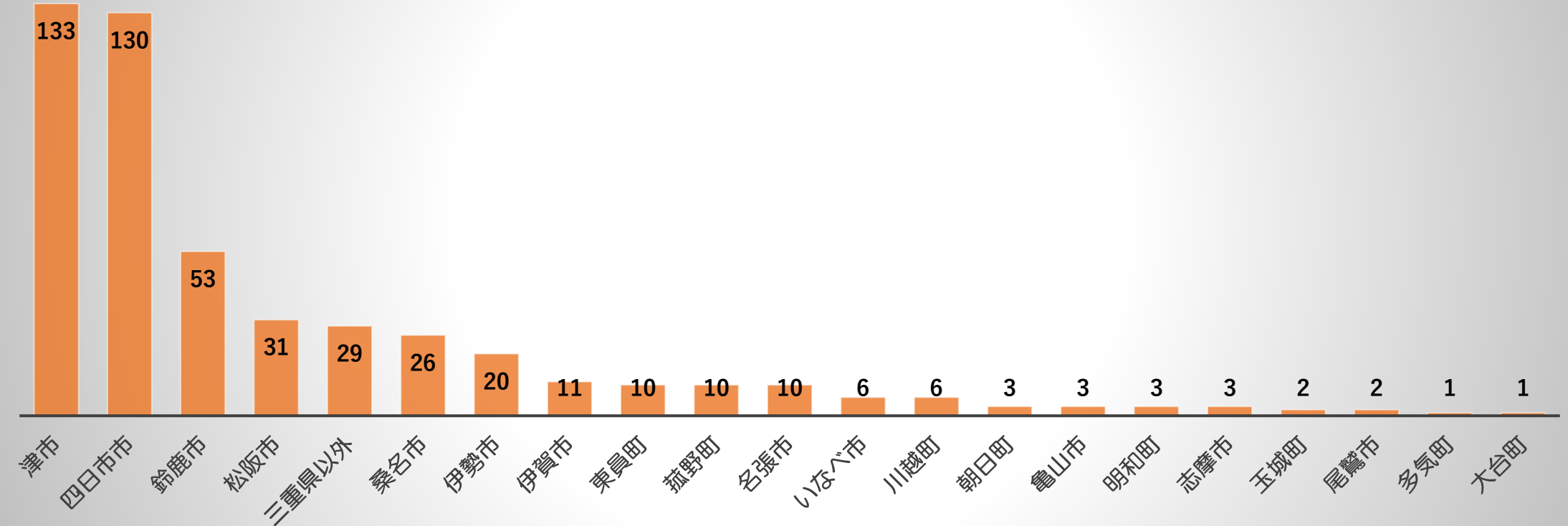


個人対象アンケート

津市・四日市市・鈴鹿市が居住者の63%を占める

回答数：495

あなたの居住地をお答えください

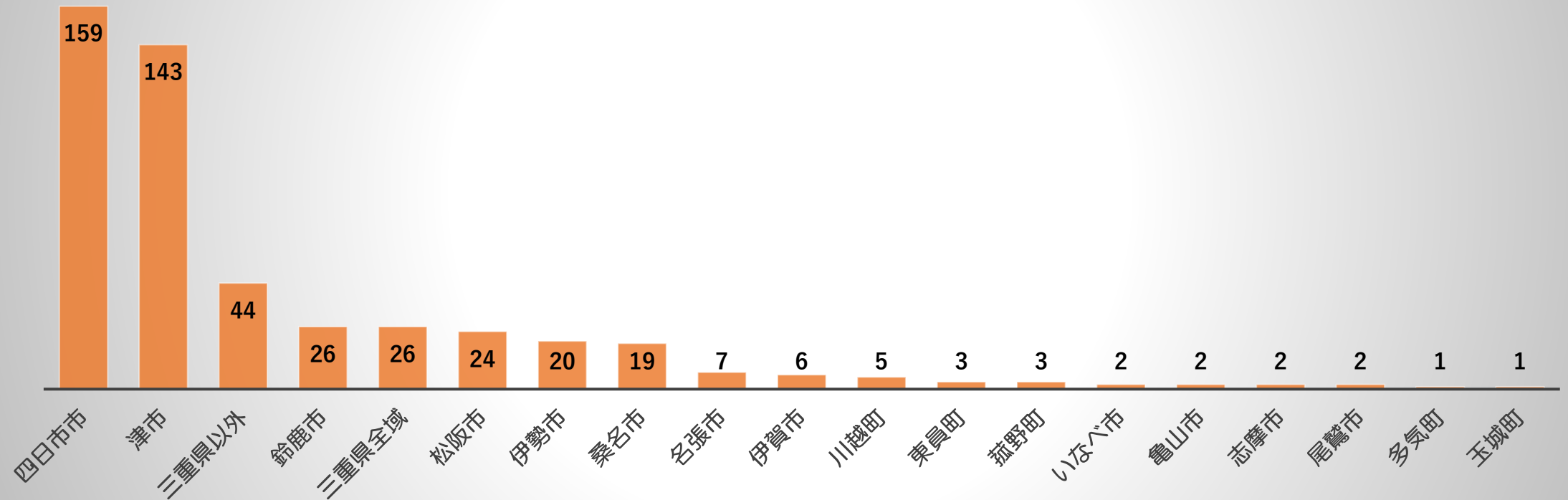


個人対象アンケート

四日市市・津市が活動地の60%を占める

回答数：495

あなたの文化芸術活動の主たる活動地をお答えください

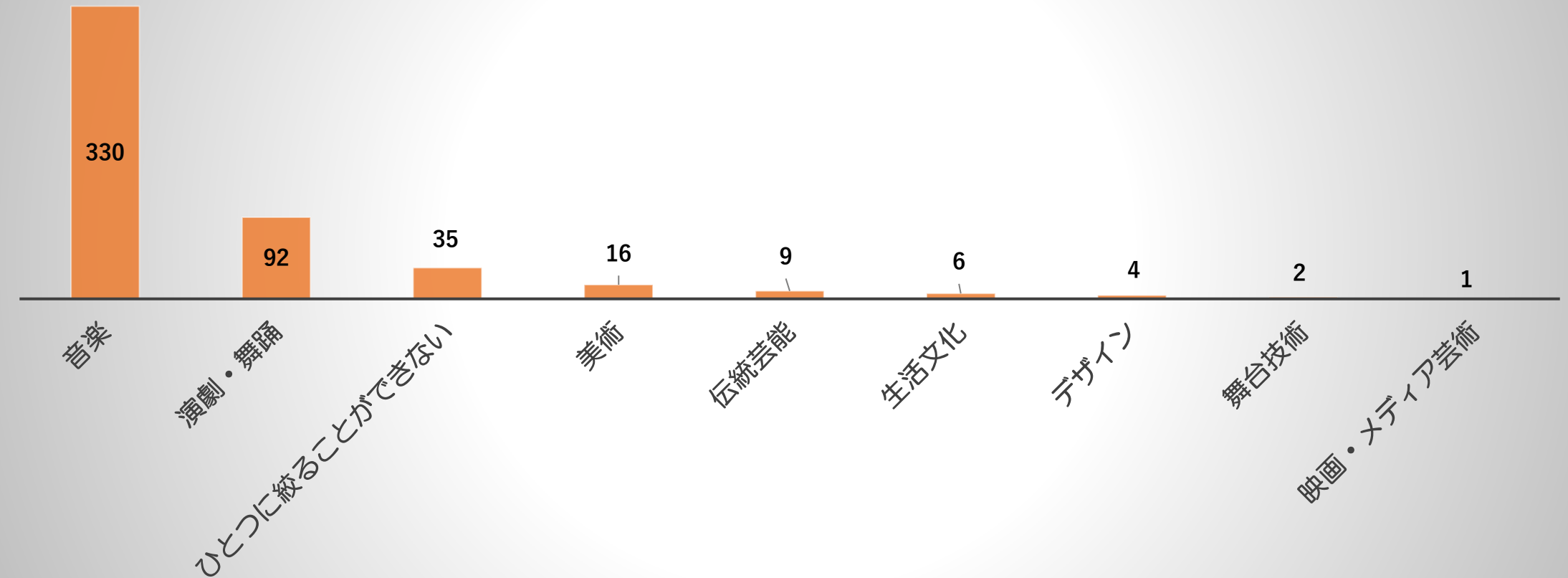


個人対象アンケート

回答者のうち66%が音楽関係者、上演を前提とする文化芸術（音楽・演劇・伝統芸能）は87%を占める

回答数：495

あなたの文化芸術活動の主たる技能分野についてお答えください

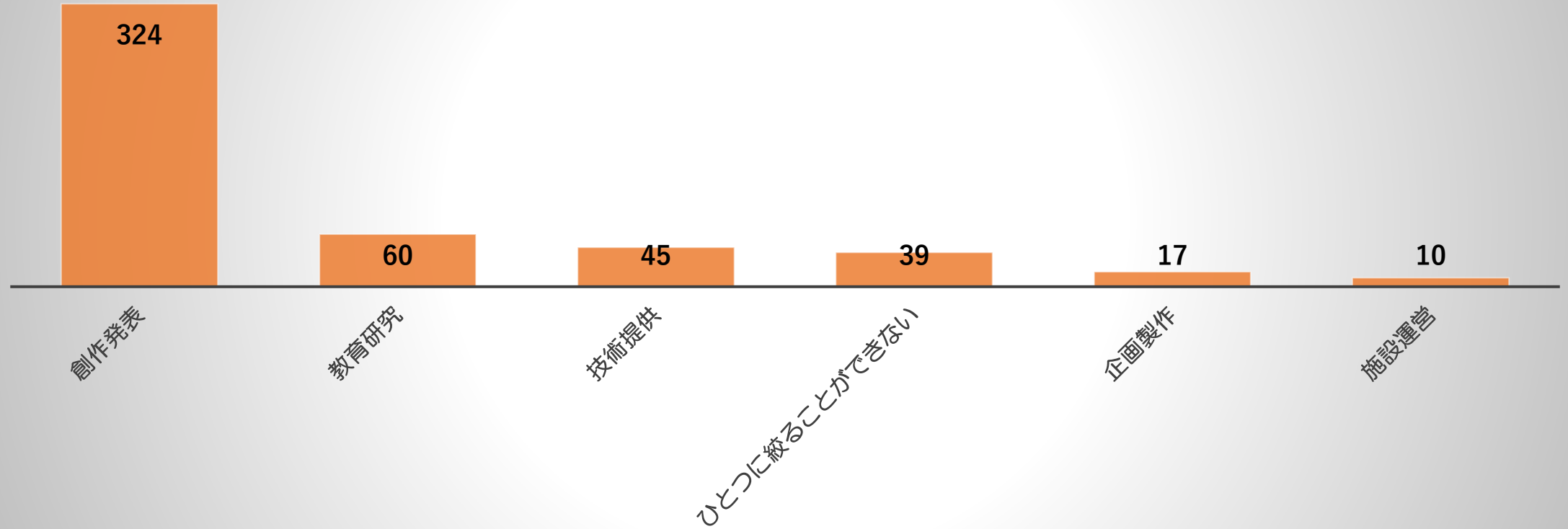


個人対象アンケート

創作発表・企画制作が68%、教育研究が12%、技術提供・施設運営が11%

回答数：495

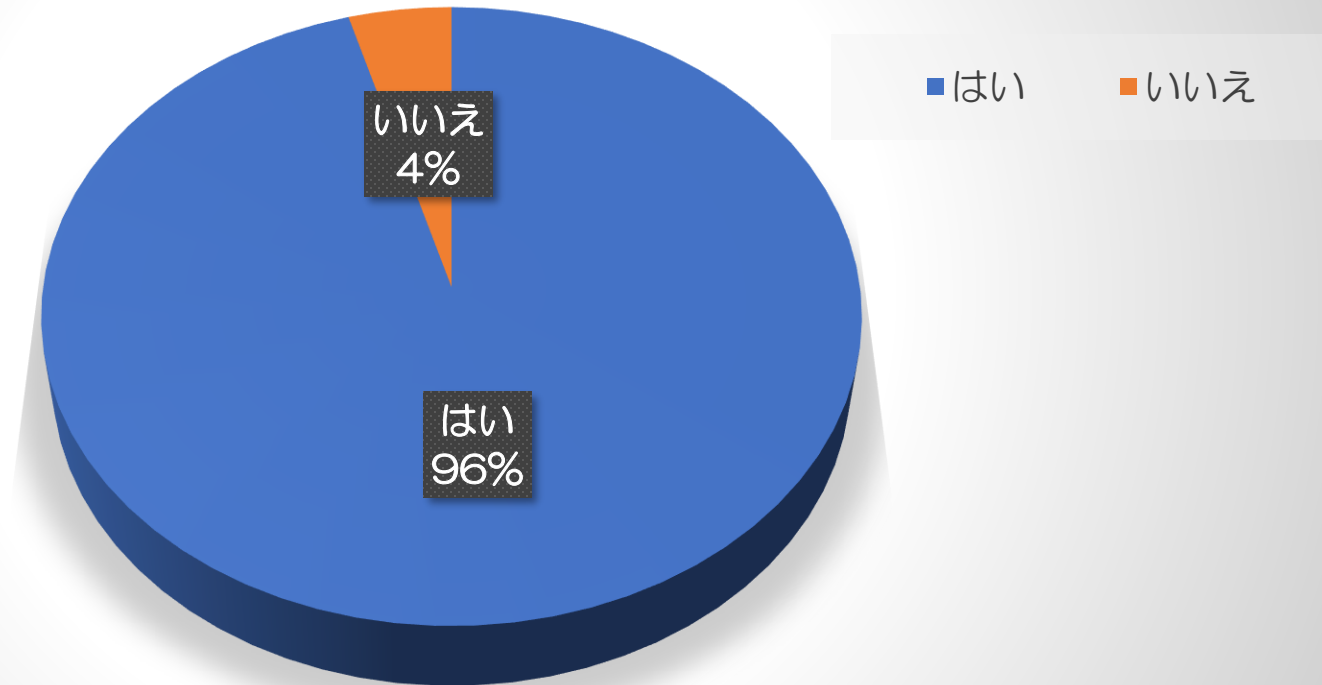
あなたの文化芸術活動の主たる技能分野についてお答えください



個人対象アンケート

公演、展示、イベント等の中止・延期がある回答者は96%

回答数：495 あなたが関わる公演、展示、イベント等のうち、新型コロナウイルス感染拡大防止のために、延期または中止されたものはありますか？



個人対象アンケート 延期・中止により発生した損失額

個人の損失総計は8000万円を超える。平均は37万5千円。技術提供・施設運営の損失が約74万円と他分野より高い。

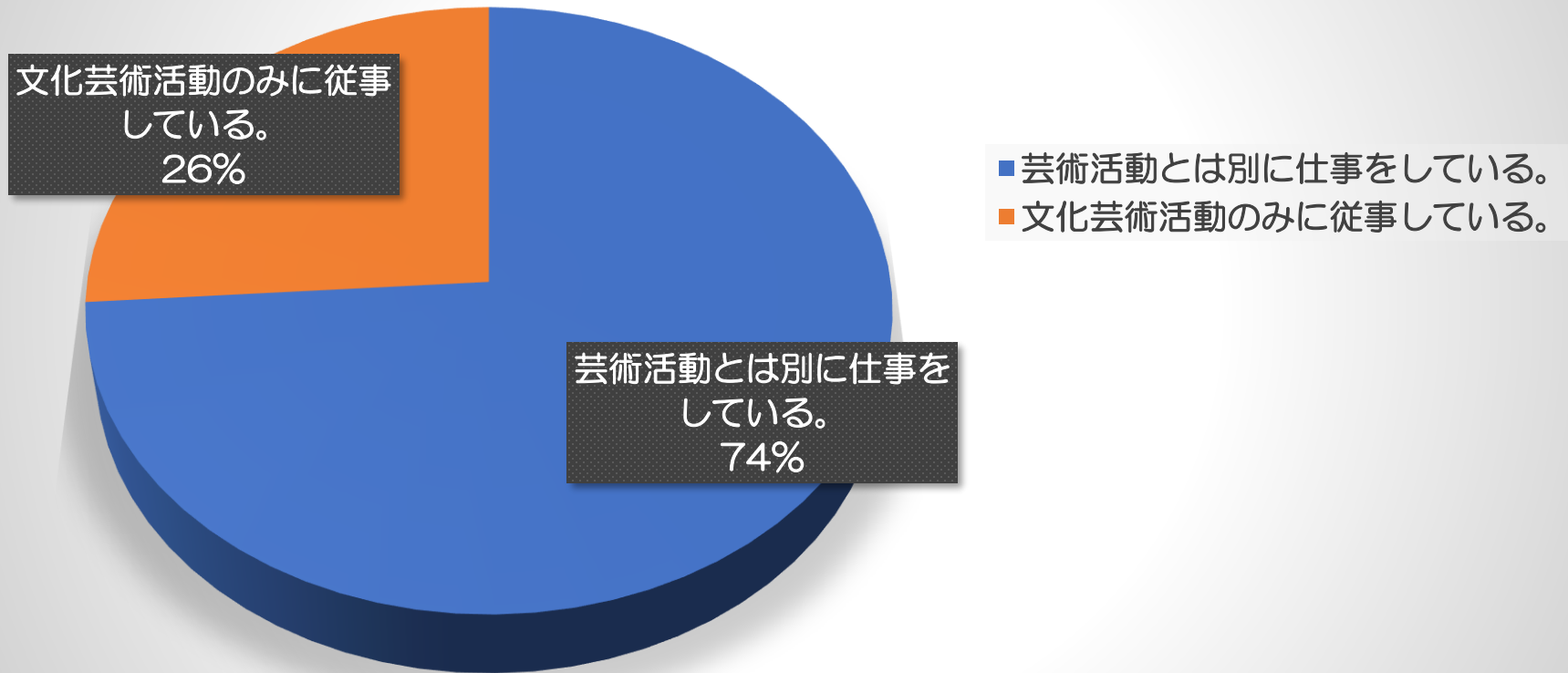
数値回答者数（損失金額を記入した回答者数）	214件
収入の損失額計	8032万円
収入の損失額の平均（損失額計÷数値回答者数）	37万5千円
最大値	300万円

	収入の損失額の平均
創作発表・企画制作（119件）	26万2千円
技術提供・施設運営（36件）	74万4千円
教育研究・その他（59件）	37万7千円

個人対象アンケート

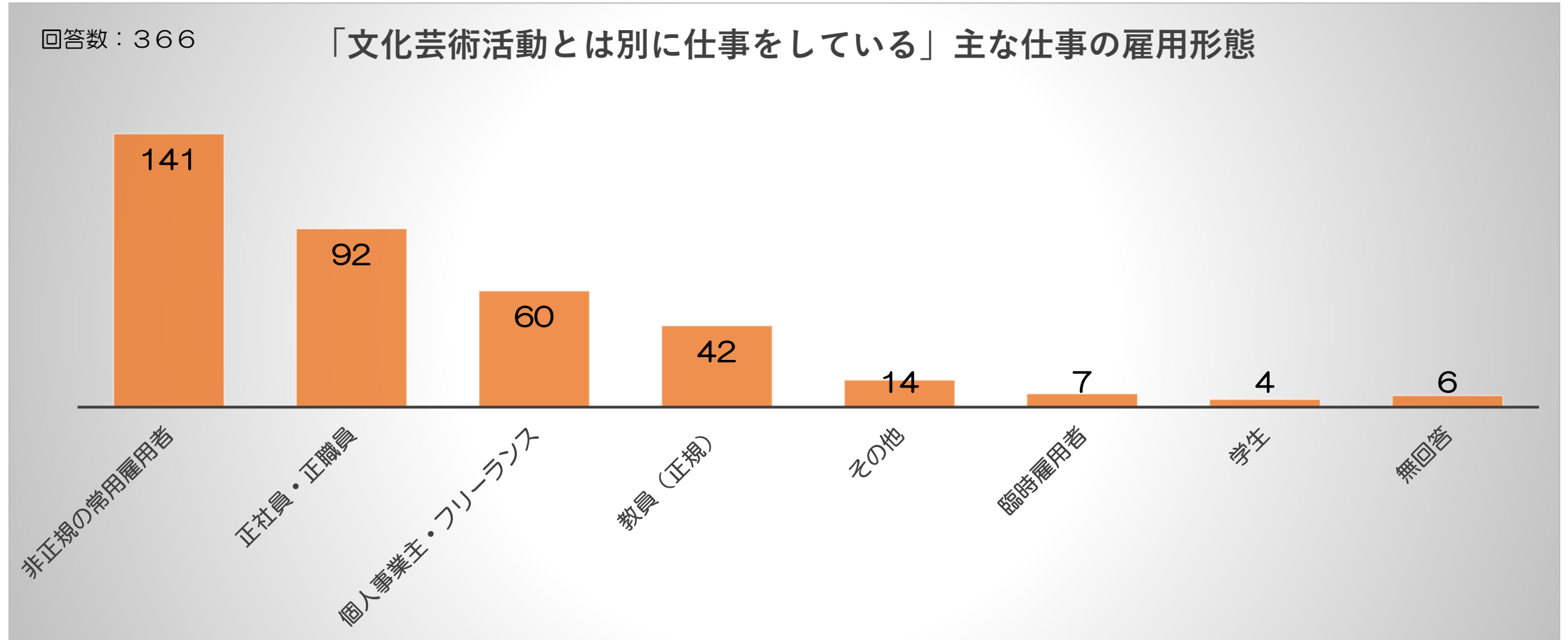
74%が文化芸術とは別に仕事をしている。

あなたは文化芸術活動とは別に仕事をお持ちですか？



個人対象アンケート

文化芸術とは別に仕事をしている（366件）人のうち、38%が非正規雇用者

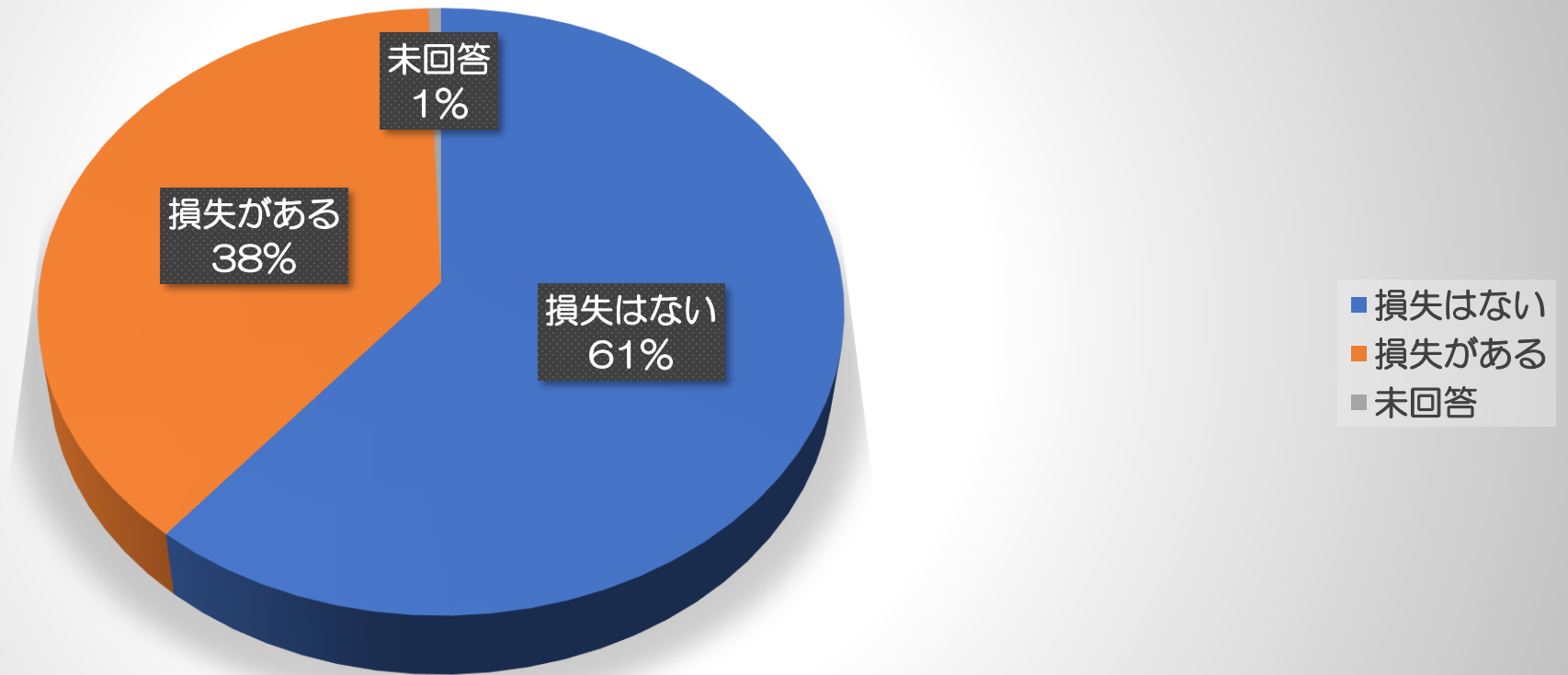


個人対象アンケート

文化芸術とは別に仕事をしている人のうち38%は、その仕事も損失を被っている。

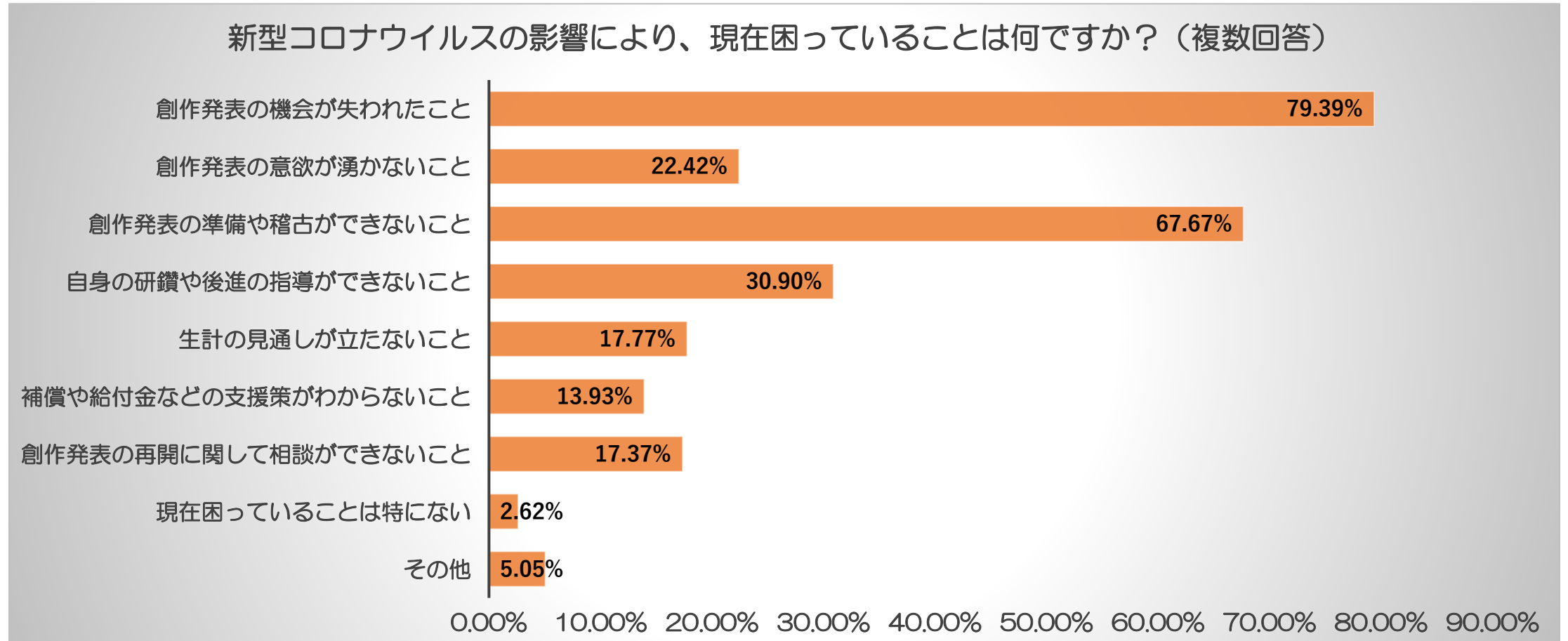
回答数：366

別の仕事では新型コロナウイルスによる収入の損失はありますか？



個人対象アンケート

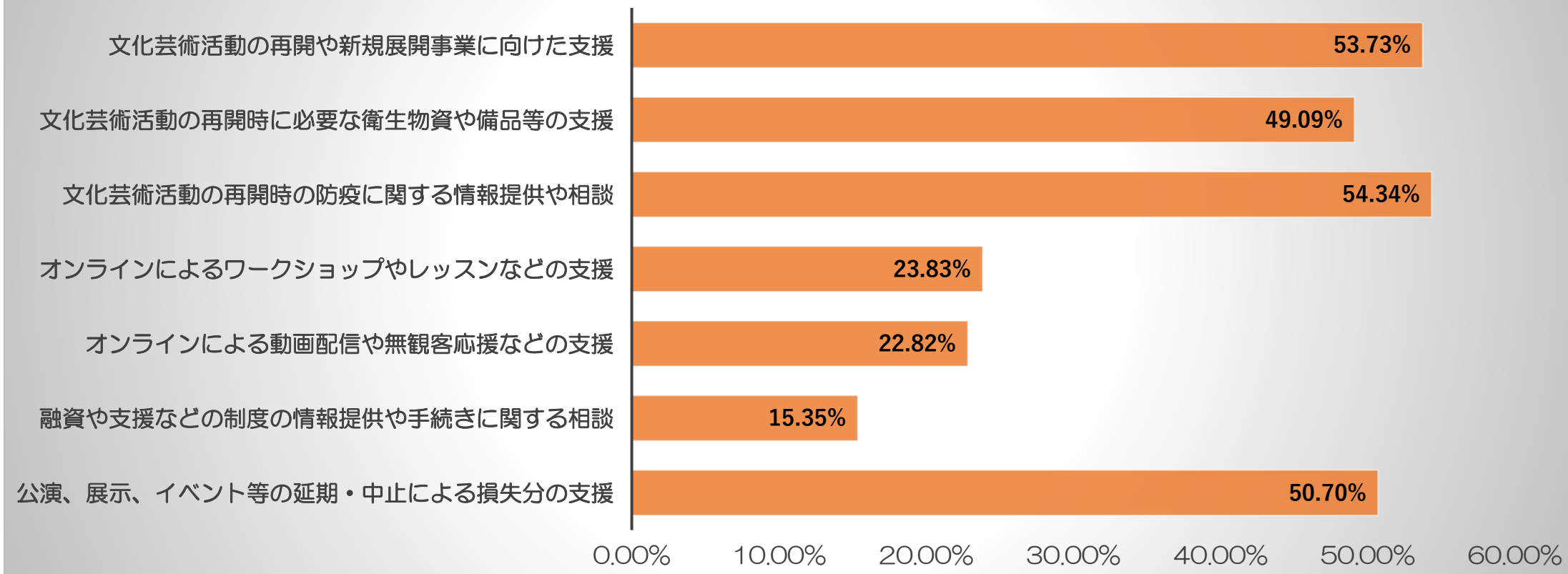
「創作発表の機会が失われたこと」が79%、「創作発表の準備や稽古ができないこと」が67%と、これまでとこれからの両方に困っている。



個人対象アンケート

「再開時の防疫に関する情報提供や相談」が54%、「活動の再開や新規展開事業に向けた支援」が53%、「延期・中止による損失分の支援」が50%。

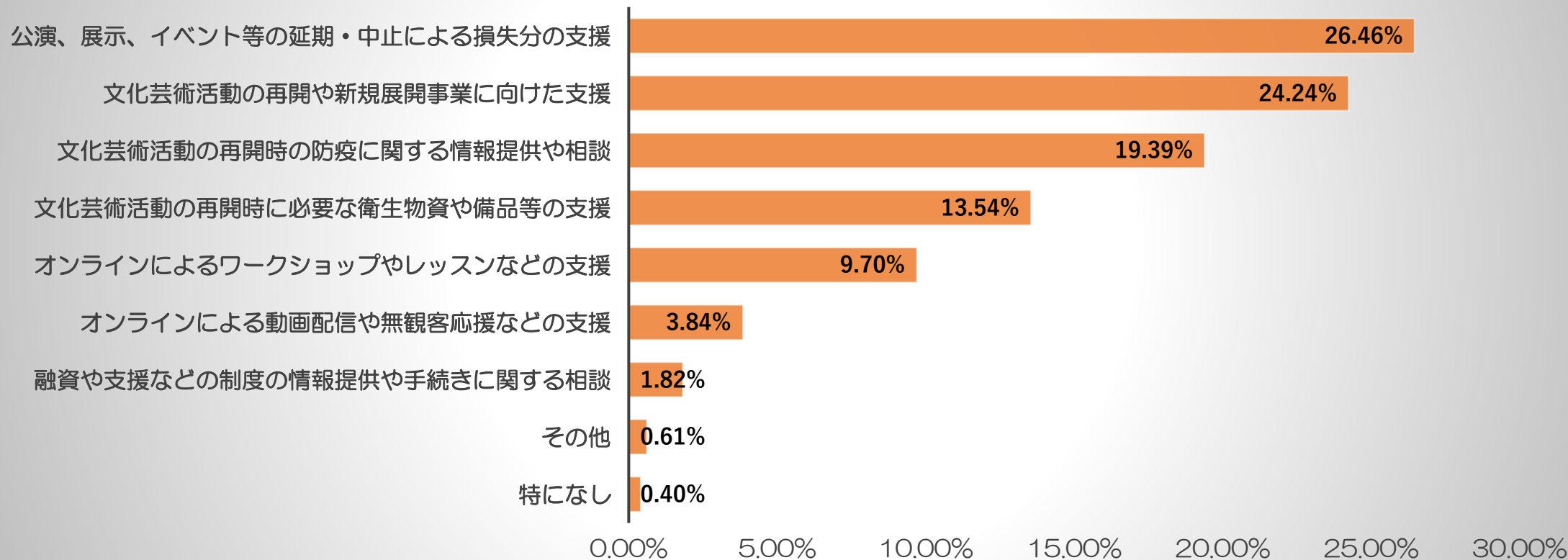
文化芸術活動の支援のうち、どのような支援が必要ですか？（複数回答）



個人対象アンケート

「延期・中止による損失分の支援」が26%、「活動の再開や新規展開事業に向けた支援」が24%と、ここでもこれまでとこれからの支援を期待する声が

最も必要としている支援

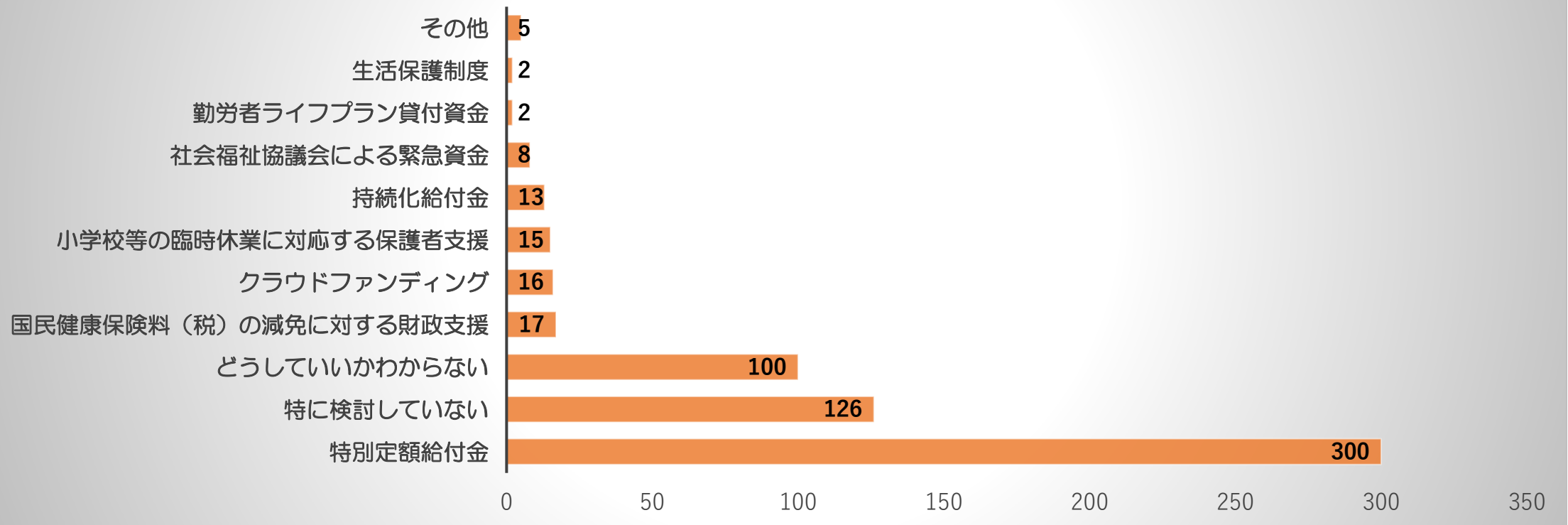


個人対象アンケート

文化芸術へ支援する状況がまだ整っていないのか、特別定額給付金を60%が活用、「どうしていいかわからない」が20%。

回答数：495

新型コロナウイルスに関する支援策や制度のうち、
活用している、または活用を検討している支援策や制度



調査結果

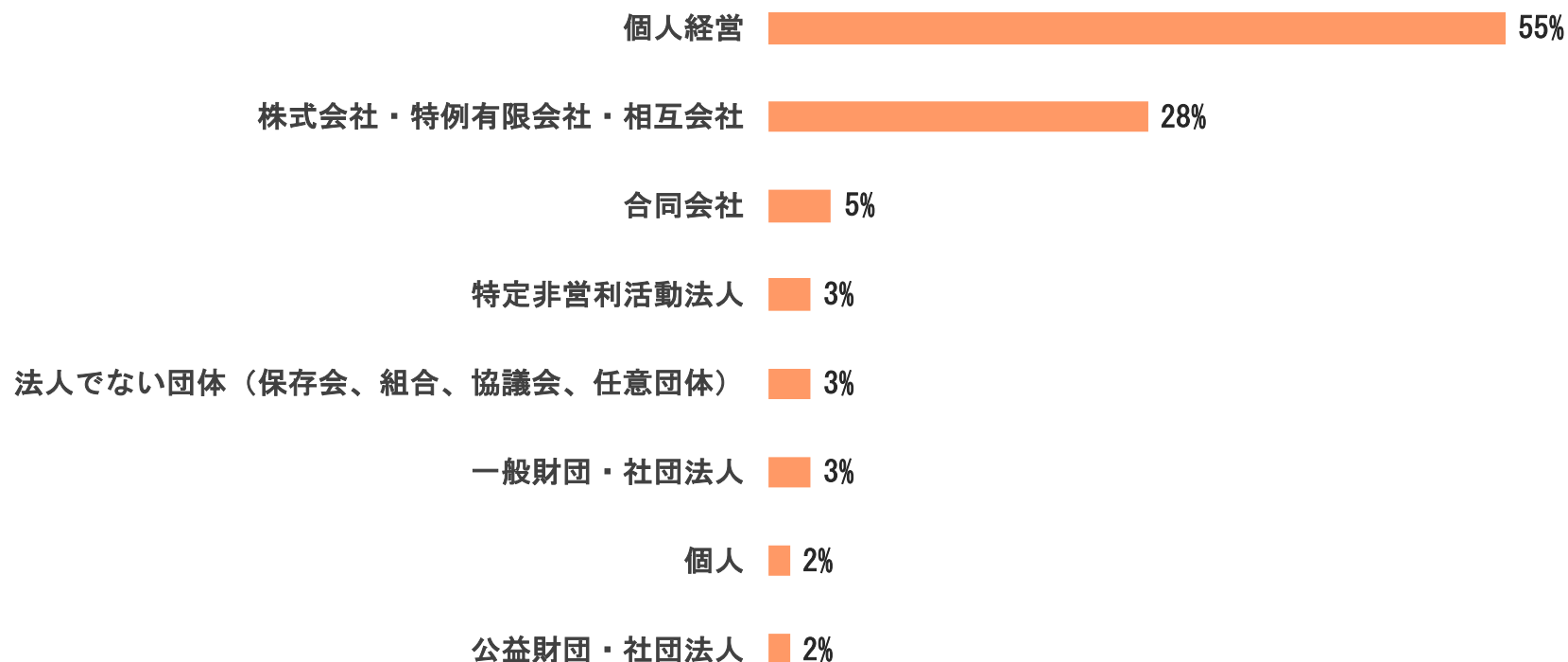
② 事業所対象アンケート

回答事業者数64

② 事業所対象アンケート

経営形態

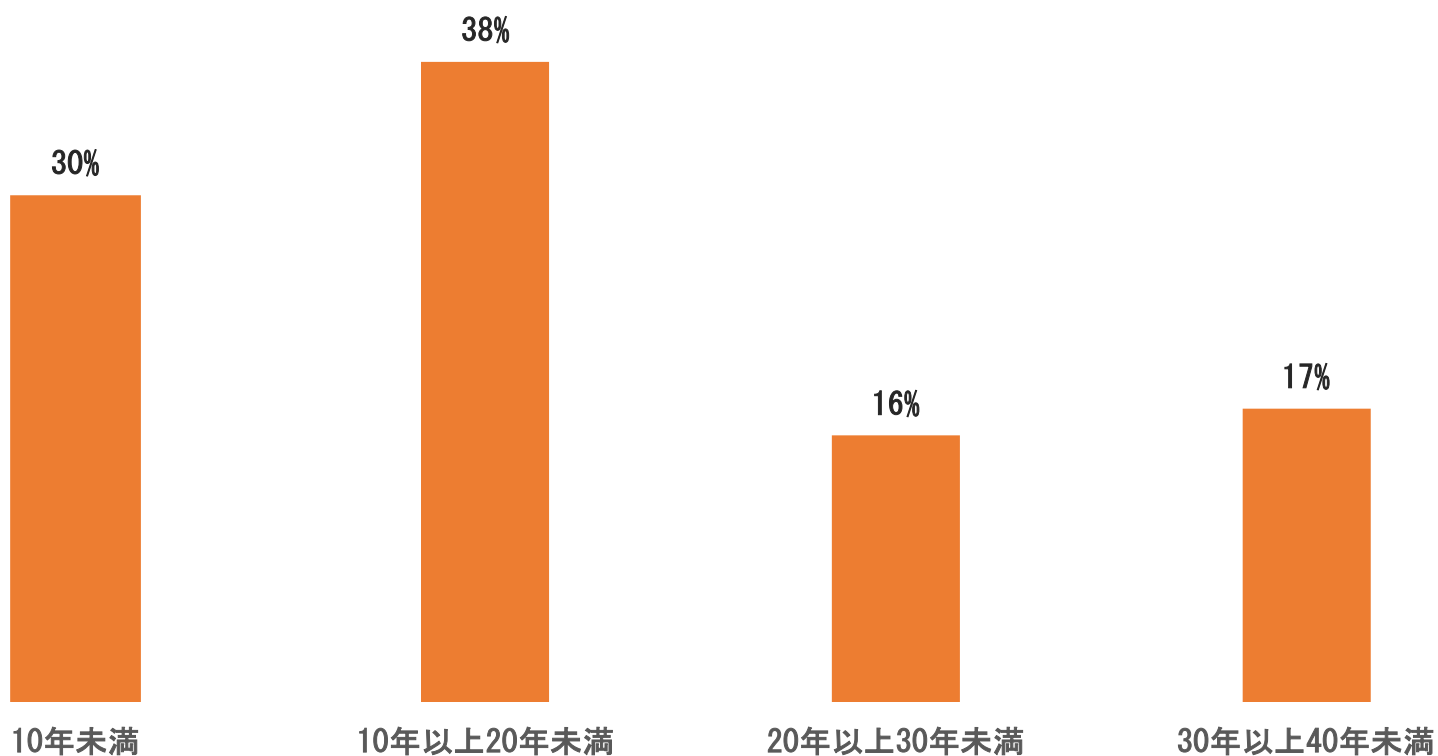
55%が個人経営、28%が株式会社・特例有限会社・相互会社の回答となっている。



② 事業所対象アンケート

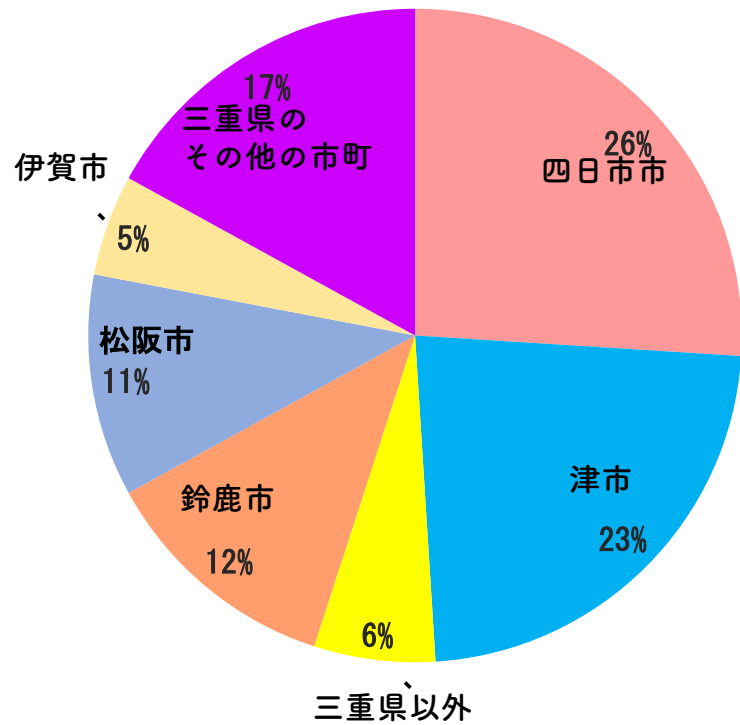
事業開始からの年代

10年以上20年未満が38%、10年未満が30%、30年以上40年未満が17%、20年以上30年未満が16%

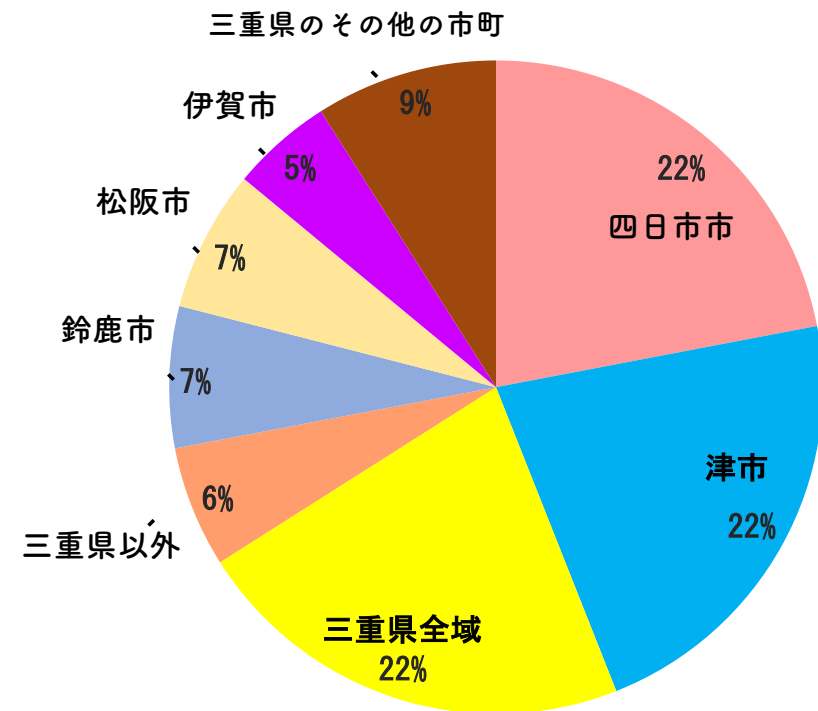


② 事業所対象アンケート

所在地



活動地



② 事業所対象アンケート

事業所の構成人数

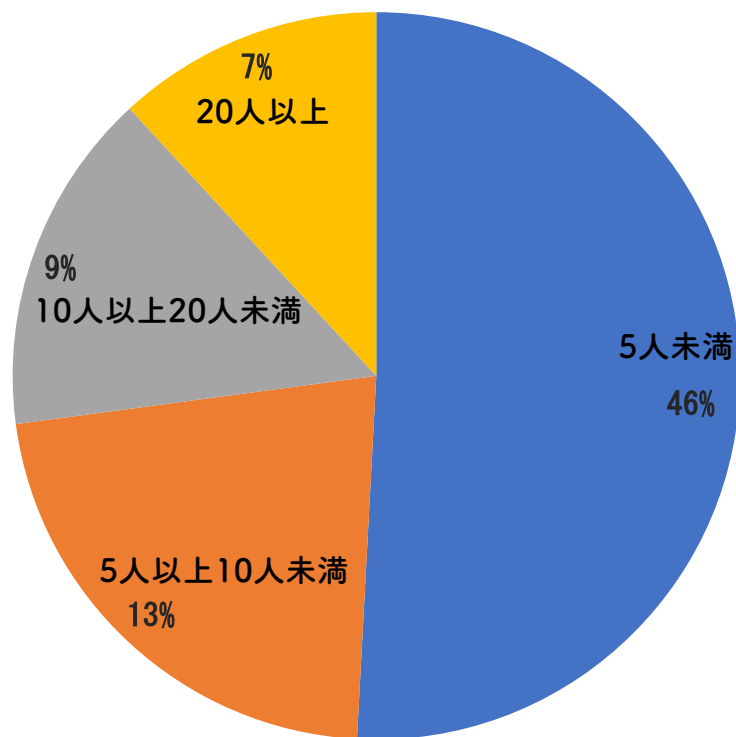
事業所の構成人数の計は、平均で19.6人、正社員・正職員の平均は3.0人

	平均	最大値
個人業主	3.8人	15人
個人事業主の家族等（無給）	1.3人	9人
正社員・正職員	3.0人	13人
常用非正規雇用者	7.0人	111人
臨時雇用者	3.0人	20人
ボランティア・無給スタッフ	1.5人	30人
<u>構成人数の計</u>	19.6人	111人

② 事業所対象アンケート

事業所の構成人数

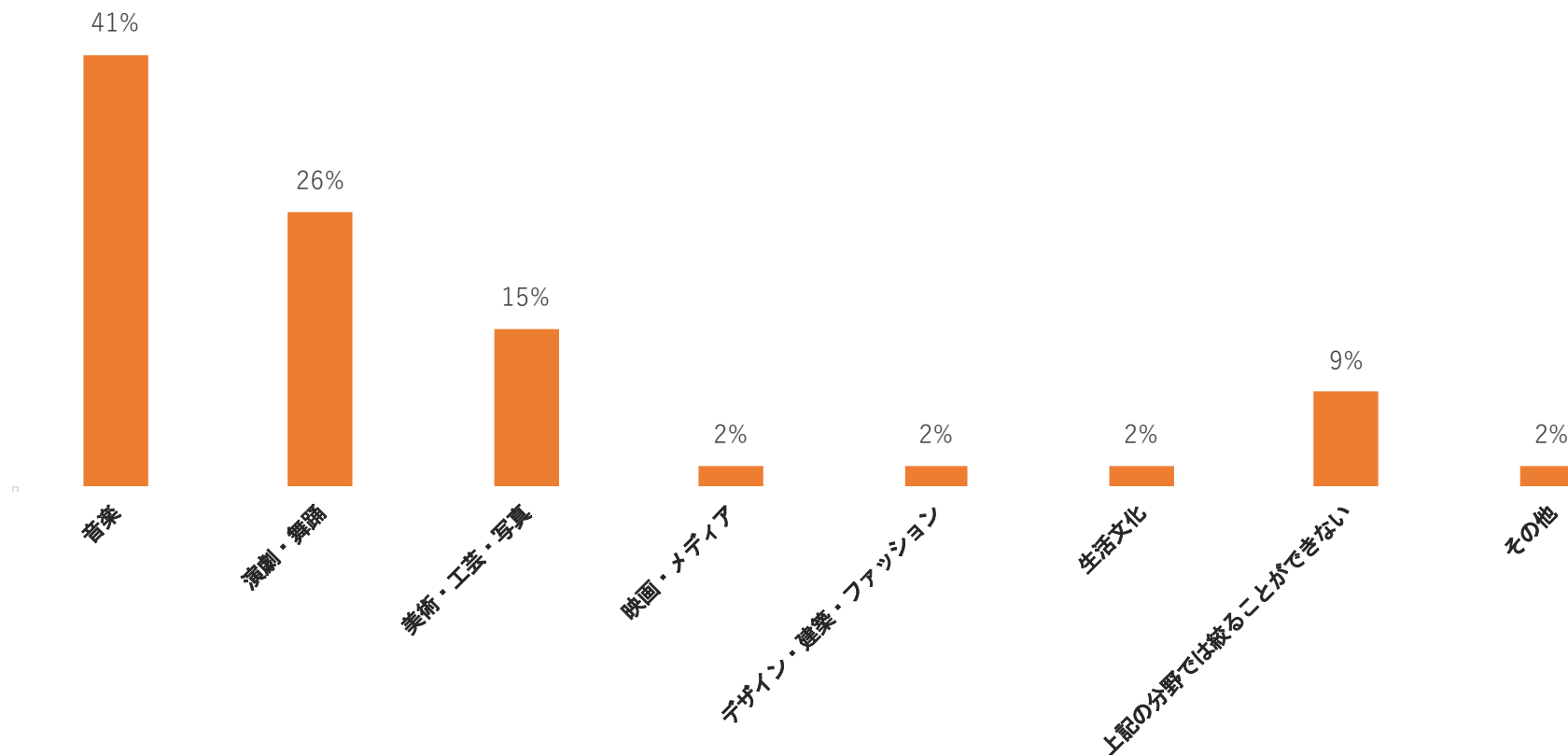
事業所の構成人数を区分で分析すると、5人未満が46%



② 事業所対象アンケート

表現分野（3つまで複数回答）

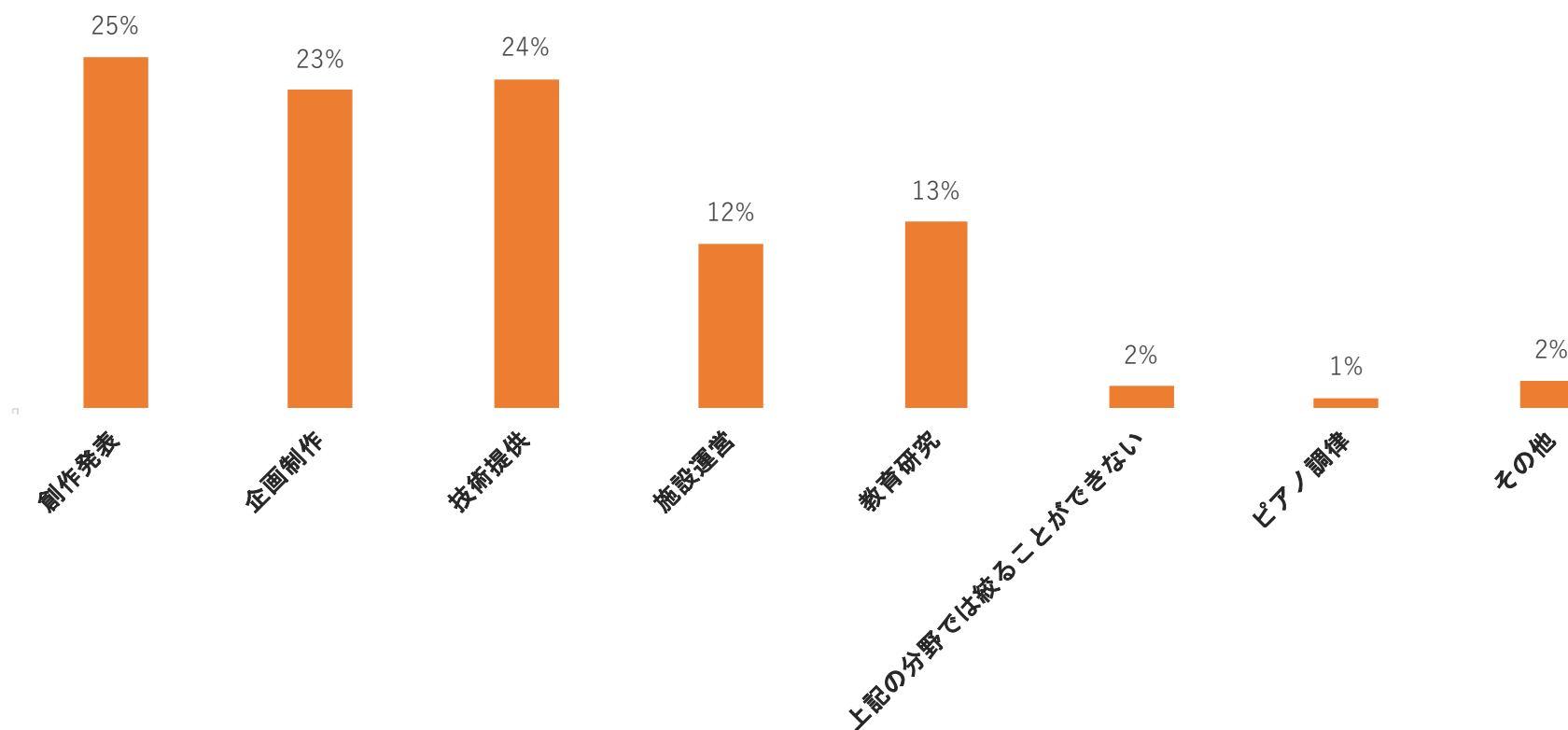
音楽が41%、演劇・舞踊が26%、美術・工芸・写真が15%



② 事業所対象アンケート

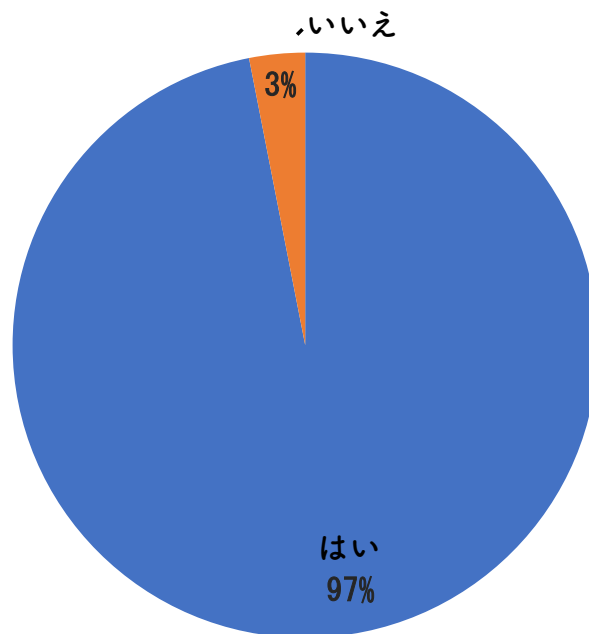
技能分野（3つまで複数回答）

創作発表が25%、技術提供が24%、企画制作が23%



② 事業所対象アンケート

感染拡大防止のための中止・延期があるか
公演、展示、イベント等の中止・延期がある事業者が97%



② 事業所対象アンケート

延期・中止による収入の損失額

事業所の収入の損失 合計額は約1億2千万円、 平均額は約213万円

数値回答の件数

59件

収入の損失額の合計

1億2,620万9,854円

収入の損失額の平均

213万9,150円

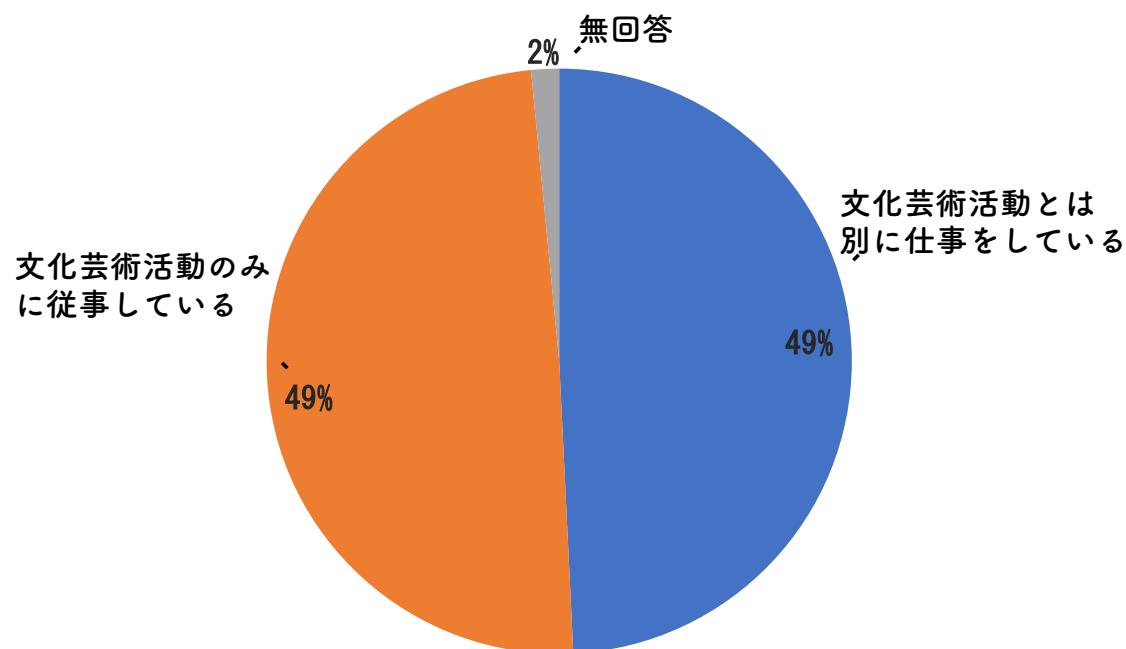
最大値

2,500万円

② 事業所対象アンケート

文化芸術活動とは別の業務

49%が文化芸術活動のみに従事、文化芸術とは別に仕事をしているのは49%



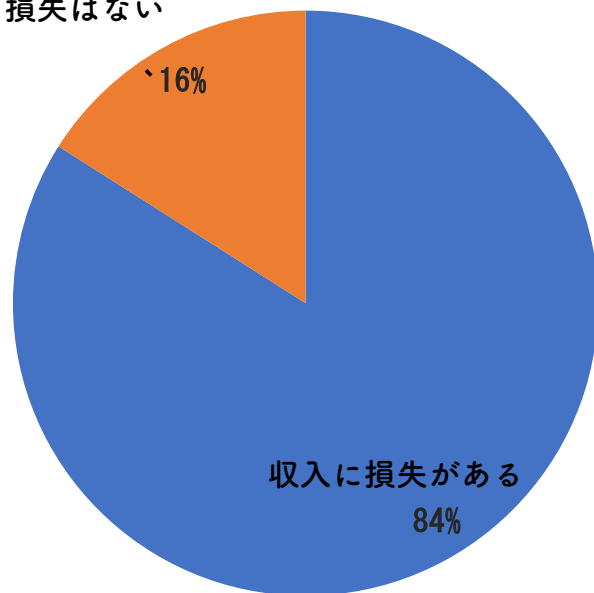
② 事業所対象アンケート

別業務の分野と収入の損失

文化芸術とは別の業務を行う事業所84%が収入に損失がある

収入に損失はない

16%



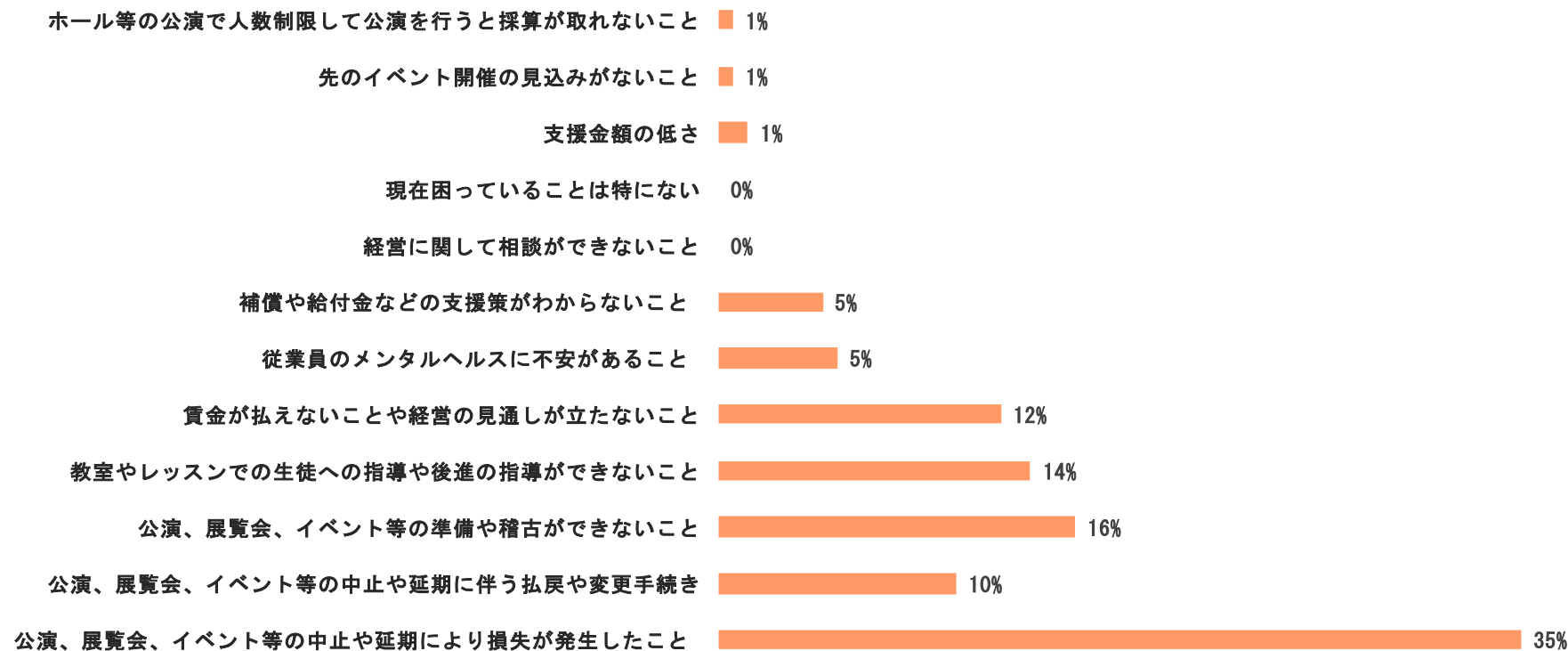
収入に損失がある
84%

○イベント制作	7件
○商品販売	7件
○教育・学習支援	6件
○飲食サービス	3件
○広告制作・印刷・製本	2件
○運送	2件
○その他 (社会福祉・医療サービス・設備工事他)	4件

② 事業所対象アンケート

現在困っていること（複数回答）

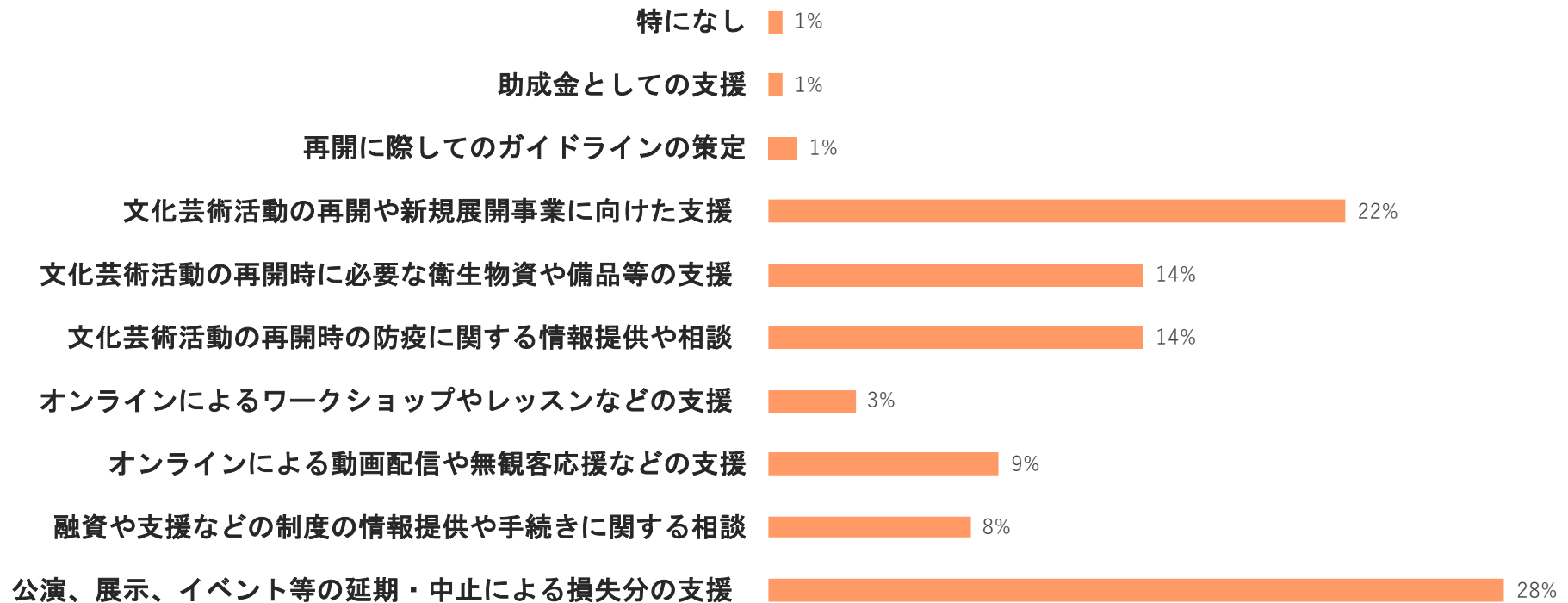
「中止や延期により損失が発生したこと」が35%、「準備や稽古ができないこと」が16%



② 事業所対象アンケート

必要としている支援（複数回答）

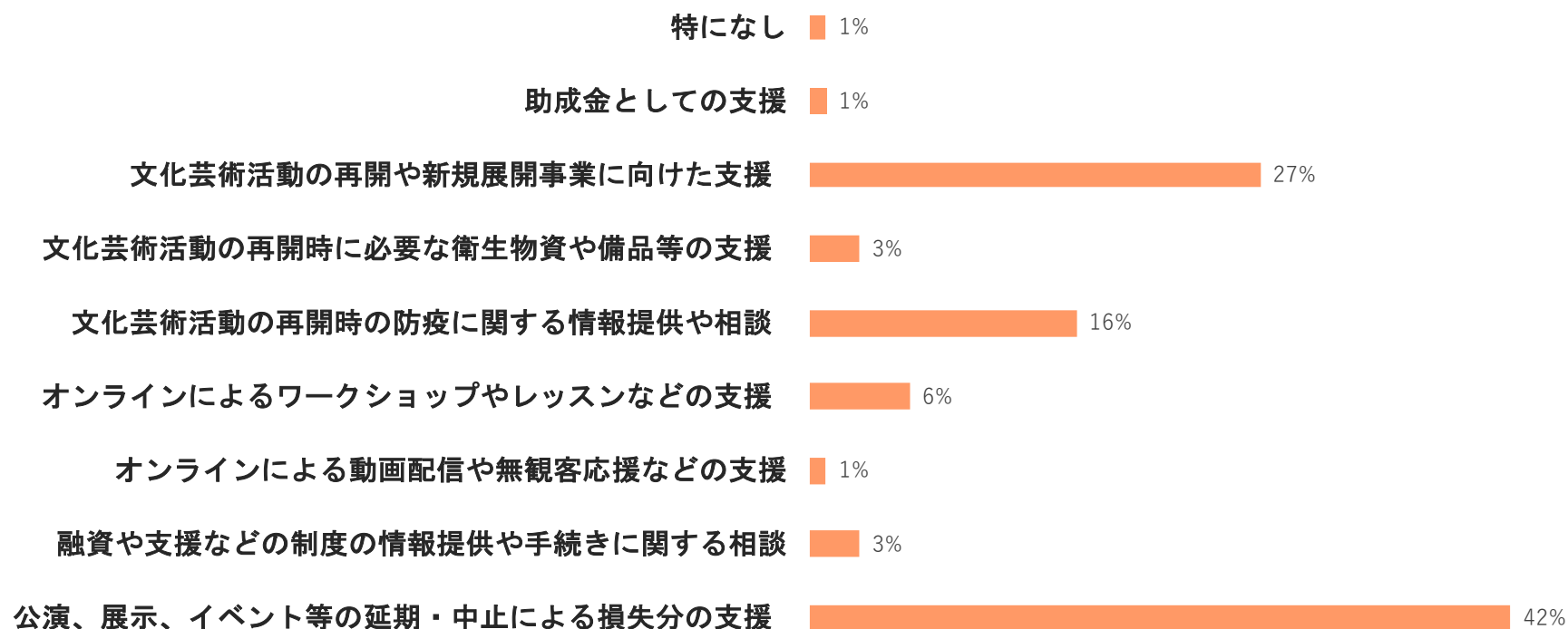
「中止や延期による損失分の支援」が28%、「活動の再開や新規展開事業に向けた支援」が22%



② 事業所対象アンケート

最も必要としている支援（複数回答）

「中止や延期による損失分の支援」が42%、「活動の再開や新規展開事業に向けた支援」が27%



- 三重県内の文化芸術に関わる有志一同
馬場浩子（声楽家・名古屋芸術大学教授）
宮璃アリ（女優・パーソナリティー・演劇制作者）
田中綾乃（三重大学人文学部准教授・演劇評論家）
鳴海康平（演出家・第七劇場）
中山 剛（ミュージシャン・ライブハウスMAX' A代表）
- アドバイザー
大澤寅雄（ニッセイ基礎研究所 芸術文化プロジェクト室 主任研究員／文化生態観察）

アンケート事務局

〒514-0008 三重県津市上浜町3丁目5 1 番地

特定非営利活動法人パフォーミングアーツネットワークみえ

担当：油田 晃（演出家・脚本家・津あけぼの座運営）

山中秀一（舞台監督・有限会社現場サイド代表）